

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 4236
'22年3月25日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

高口美和子前支部長が定年退職 笑顔が一番のご活躍に感謝します

おはようございます。

二十二日に長崎も桜の開花宣言が出ましたが、その桜の花の下で、前支部長の高口美和子さんが三月三十一日に定年退職をされます。

支部は高口さんのこれまでのご活躍に、心より敬意を表し、ご苦勞様でしたとの感謝の言葉を送ります。

思えば、彼女ほど「一番」と「笑顔」が似合う人はいないでしょう。

高口さんは一九九六年十月一日、郵政短時間職員の第一期生として入局されました。最初の一歩です。二年契約の期間雇用職員で、勤続二年間のお仕事でした。最初は書留再配達の夜間勤務でしたが、二〇〇五年一月に彼女の希望



郵政工ね長崎
2018年新春旗開き



以来、郵政ユニオン長崎中郵支部への契約社員への加入は六〇名に及んでいます。これも彼女が切り開いた道で、支部は改めて彼女の勇気と決断をたたえます。

三番目の一番は、二〇一四年三月十八日の春闘ストライキに、高口さんが契約社員として非正規の仲間三名とともに、初めてストライキへ入られたことです。ユニオンにいただけで「危ない」といわれる時代に、ストに入るなんて！「とんでもない」と思われたころの話です。

しかし、長崎中郵支部と全国の郵政ユニオンはこの厚い壁を突破しました。この結果、いま全国の春闘ストには非正規の仲間が多く参加されています。これもまたたかい以外に要求を勝ち取る道はないと自覚する、働く人としての当然の道を歩む、ユニオンと高口さんの成果でした。

四番目の一番は、二〇一一年七月八日の第八回定期全国大会（広島開催）で、高口さんは中央執行委員に就任されます。女性の中核は郵政ユニオンとしては初めてであり、かつ、非正規の期間雇用社員としても、無論、初めてのことでした。この二つは素晴らしい！の一語に尽きます。

当時、少数組合である郵政ユニオンの中核は、かなり難しい役割と考えられていましたが、高口さんはこれを笑顔と優しい心で対応され、全国の信頼を得られます。しかも、退職までの一〇年間は、長崎中郵支部の支部長として、多くの契約・期間雇用社員のおき相談相手として、多くの人を励まし、勇気を与え続けてこられました。

それもこれも、彼女自身が非正規契約社員という差別下であり、例えば短時間社員には二〇年勤続表彰もない、という悔しさと、弱者の視点をもち高口さん以外にはない感性に起因します。これは正社



員にはもちえず、また男性でもありえない感性です。

そして五つ目の一番は「笑顔」です。彼女の明るい笑顔で人と対応される、日々のスタイルです。その結果、周りの多くの人が安心して、長崎中郵で働き、郵政ユニオンで生きていくことができています。これこそ、仲間と団結し、会社とたたかう人の基本であ

り、高口さんの仲間づくりの素晴らしさです。

この五つの「一番」は、長崎の郵政ユニオンだけでなく、全国の仲間づくりへとつながります。その原点は、彼女の日常のスタイルで、いつでも、どこでも、だれとでも、明るく笑顔で対応できる芯の強さにあり、高口さんこそ、真の組織的リーダーです。

さらに彼女には、家族の生活を支える毎日の家事労働があり、(女性だけではなく)高口さん自身も両親の介護など、苦しい毎日ながら、仕事に、組合活動に多忙な日々でした。

その意味ではご家族の支えなしには、ユニオンの活動もできなかったわけで、感謝の言葉はご家族にも送りたいと思います。本当にありがとうございました。

支部はこの彼女のご活躍に敬意を表し、感謝の言葉を送るために、明後日の二十七日の日曜日に、慰労送別会を開催します。高口さん、二六年間のお仕事、大変お疲れさまでした。ご健康に留意され、今後のご活躍を祈念します。

※写真は支部の旗開き、スト突入時、ピースサイクル参加時のものです。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と非正規労働者の正社員化を。

めげず、均等待遇を。

ユニオンは労働法裁判に勝利を！